

校長室だより第 17 号（令和 8 年 7 月 16 日）

エアコンが故障した。

先週、急に暑くなり、当然ですが、どの学級もエアコンのスイッチを入れ（それも低めの温度設定で）エアコンを酷使？したからでしょうか、エアコンが機嫌を損ね？10 教室のエアコンが使用できなくなりました。

保護者の皆様はすでにご存知のことですが、特に、対象学級（エアコンが故障した学級）の保護者の皆様には、体を冷やすためのグッズやいつも以上に多めの水分の用意をしていただきありがとうございました。

コロナ禍前の平成 20 年代には、教室にはエアコンが設置されていませんでした。子どもたちは「暑い。暑い。」と言いながらも、下敷きをうちわ代わりにして涼を得て、乗り切っていました。その当時はエアコンがなかったから我慢できたのかもしれませんが、その時（約 10 年前）と今とでは平均気温で 2 度以上の差があり、10 年前は「暑い。暑い。」でしたが、今は「熱い。熱い。」と書く方が正しい気がしてしまうほどです。だから、10 年前はエアコンがなくても学校生活が送れましたが、令和 8 年の夏はエアコンがなくてはならないものなのです。

朝の内はまだ我慢できるのですが、3 時間目以降は教室で授業を行うのは難しい状況となります。

本校としても、この状況を指をくわえて見ていたわけではありません。

すぐに、教育委員会の施設課に報告。エアコン業者と折衝。「子どもたちの命にもかかわるから、すぐに来てほしい。」とお願いしました。すぐに業者が来てくれたのですが、「部品が揃わなければ修理できません。」とのことでした。

すぐ一をを使って、保護者に状況説明と協力の要請。

体育館から、大型送風機と冷風機を 2 階 3 階へ移動させ、稼働。

図書室や家庭科室などの特別教室で授業を行ったり、給食を食べたりする。

すべて些細なことばかりなのですが…。それでも、保護者の皆様の協力と、子どもたちの忍耐力と学校が行った些細なことが合わさり、なんとかエアコンがない異常な事態を乗り切ることができました。

7月16日に部品が揃い、朝から業者が来校しました。修理に4時間以上を要したのですが、午後1時半ころ、すべての教室のエアコンが復旧しました。エアコンの吹き出し口から冷気が出てきた時の子どもたちの嬉しそうな、ホッとしたような顔が印象的です。